



第24回 ふるさとイベント大賞 選考委員会表彰

狐の夜祭り

昭和63年、過疎が進む新潟県柏崎市高柳地域の活性化を模索していた地元の若者たちが、富山県利賀村（現・南砺市）で狐の絵を描く画家の故・古川通泰氏と出会い、平成元年に古川氏の協力を得て大作の狐の絵をはさ木に掛けて飾ったのが「狐の夜祭り」の始まりです。その後、年々アイデアを加えて、「藤五郎狐」という地元の民話が伝わる栃ヶ原集落と麓の漆島集落を結んで「狐の提灯行列」を行う現在の姿になっています。

祭りで使用する提灯やお面、大鍋のほか、地元の盆踊りをアレンジした狐の踊りも全て手作りで、実行委員会メンバーだけでなく地元の中学生もボランティアで参加するなど、地域一体となって運営しています。

イベントのメインとなる提灯行列では、狐のお面と白装束に身を包んだ「100匹の狐」が、提灯を片手に栃ヶ原集落から畳1枚ほどの大油揚げを担いで暗闇の道を漆島集落まで行進します。キャッチフレーズである“歩いた人からきつねの気分”のとおり、山々に響く笛の音と連なる100個余りのロウソクの灯りが参加者を幽玄の世界に誘います。神楽や和太鼓を見ながら、大油揚げの振る舞いや地元のキノコ汁など秋の味覚も楽しめるイベントになっています。

また、幻想的な狐の行列や大きな油揚げづくりなど、写真に映えるイベントということもあり、多くの方が写真を撮影し情報発信することで知名度も着実に上昇しています。

舞台の一つとなる栃ヶ原集落は25世帯で高齢化率100%と人口減少が進む地域ですが、狐の夜祭りを目的として集落の人口を超える観光客が県内外から集まることにより、地域住民の自信や活力を生み出しています。

主催者メッセージ

横笛奏者の小俣達郎さんを先頭に、暮れ始める時間に出発する狐の提灯行列は、祭りのメイン。山々に響く笛の音と連なる100個余りのロウソクの灯りが幽玄の世界に誘います。県内はもとより、遠方から提灯行列に参加するためにおいでになる方々もいらっしゃいます。あなたも「狐の気分」を味わいに高柳町においでになりませんか。



狐の夜祭り実行委員会（所属：ゆめおいびと代表）実行委員長

中村 圭希さん



開催DATA

自治体名	新潟県柏崎市
自治体人口	1,286人 <small>※R1.12末現在の住民基本台帳人口</small>
主催団体	狐の夜祭り実行委員会
開催回数	30回
開催日	平成30年10月14日(日) ※10月第二日曜日
開催場所	新潟県柏崎市高柳町栃ヶ原地区 および漆島地区
観客数	3,000人



評価のポイント

- 高齢化率100%の栃ヶ原集落も含んだ高柳町で30年も続く創作イベント。
- 地域の若者が中心となり地域に元気と誇りを持ってもらおうと始めた。
- 空き家を改修し、年間を通じて祭りをPRできるギャラリーを開設するなど、地域とのつながりを生んでいる。

次回 開催日程

- 開催日：令和2年10月11日（日）予定
- 開催場所：新潟県柏崎市高柳町栃ヶ原地区及び漆島地区
- 問い合わせ先：
 - ・ 団体名 狐の夜祭り実行委員会（柏崎市高柳町事務所）
 - ・ 住所 〒945-1502 新潟県柏崎市高柳町岡野町1849-1
 - ・ 電話番号 0257-41-2233 ・ URL takayanagi@city.kashiwazaki.lg.jp